

交遊男女共同参画



SWOSの会 びっくり箱劇団の派遣

「男女共同参画」を身近なものとして感じてもらうために、“依頼された方のご希望に合った内容の劇”を上演。

「わかりやすさ」をモットーにし、素直にわかってくれる子どもから、固定観念にしばられる男性・お年寄りまで、楽しく上演します。

身近な内容で、男女共同参画意識向上の啓発をします。

ご要望に添ったオリジナルシナリオで上演します！

交通費をご負担いただければ、どこへでも伺います。先ずはご相談ください。

【 問合せ先 】

SWOSの会 担当：大國

Tel：090-3152-8028

(下記掲載文は、上演記録の一部を抜粋したものです) 2017年度 上演実績：12カ所

小学校1年生 「人権教育の一環」

アドリブ劇で、乱暴な言葉遣いの女の子、弱虫・泣き虫の男の子の2人のやり取りの後、「言葉遣い」について、みんなに問いかける。「女の子って乱暴な言葉を使っちゃあいけないんだよ」「男ってさあ、ちっちゃい声で話しちゃ、だめ」こんなに小さいのに、男は女はこうあるべき、ということを誰かに刷り込まれているようだ。誰に？ここが問題だ。

私たちが、同じ1年生役でクラスの子たちと仲間意識を作って話す。

「それって、おかしいと思わない？」「いいじゃん、男の子も女の子も、同じだよ」。子どもの頭は柔らかい。私たちも一生懸命に男女共同参画意識を刷り込んでいく。

最後に、友だちのいいところを言い合う。

「〇〇さんは走るのが早いです」など。

お互いにほめ合い、認め合えば、いじめも差別も起きてこない……。



小学校5年生 「嫌われているみたい！」

前もって「力の強い子の影響が強くて」ということを先生から聞いていたので、“いじめ”を中心とした劇を上演したが、クラスの違いが表れた。

若くて元気の良い男性教諭のクラスは、児童も元気いっぱい。「いつもは、教室を歩き回る子なのに、椅子に座って劇を見ることができた」とうれしそうな先生。

かたや、女性教諭のクラスは、静か～に、深刻そうにじっと劇を見ている。

どうした？どうやら、“いじめ”が進行中のようだ。

「まさにこのクラスにぴったりの内容で、驚きました。いえ、劇をやってもらってよかった」と、グットタイミングだったと、少し興奮気味の先生。

これで、いじめがなくなればうれしい。「自分がされていやなことは、人にしちゃだめ！」

「いじめていなくても、されている人は、いじめだと思うよ」

力が強い・弱い、体が大きい・小さい、頭がいい・悪い、男だ・女だなどなど、いじめのネタがたくさんあるため、いじめはなかなか減らない。

民生・児童委員協議会定例会 「私 75 歳、まだまだこれから」

要望が「介護」の内容で、リーディングカフェ（参加型朗読）を実施。認知症が発症した夫ととまどう妻、家庭介護の始まりを劇にしたオリジナルシナリオ「私 75 歳、まだまだこれから」を、参加者に、シナリオを 1 ページずつ持ち回りで、役になりきって読んでもらう。男性が「女性役」になり女性になりきり読み上げる人、恥ずかしがって大声をだせない人、読み間違えて赤面する人…。しかし、始まる前と終わってからでの顔が全く違う。晴れ晴れと、すっきりと、笑顔に。やさしい顔になっている。これがリーディングカフェの魅力。大声で読み上げることで「緊張」し、脳が活性化する、これがボケ防止につながって行く・・・。



生涯学習センター「おばあちゃんとボクの男女共同参画」

男児が母のお手伝いをしようとする、祖母に「調理は女の仕事だから、やらなくていいと言われる」

男児は学校で習った「男は仕事、女は家事・育児となんでおかしい、家族が協力し、支えあうことが必要」と話すことで家族の団結を強める劇を実施。

中学校 3 年生 59 人の前で上演、後日感想文をいただく

《 感想文 抜粋 ① 》

私は今日、男女共同参画講座でのお芝居を見て、知らなかったことをいくつか学ぶことができました。まず、男女共同参画基本法という法律があることに驚きました。家庭科で男女共同参画社会という風には学びましたが、まさか法律なのだとは知らなかったです。ニュースでもあまりやってやってないから未だそこまで進んでいるとは思いませんでした。私の家では母が家の事をやるのがほとんどで、父はあまり協力しないです。母はいつも大変そうなので、私と父ももう少し、家のことをやらなければいけないと思いました。昔の女の人は働かず、家事だけやっていればよいという考えだったかも知れませんが、今は違うと分かりました。母も仕事をしているし、私も将来は働きたいです。そうすると、やはり家族の手助けは必要不可欠なんだと思います。

しかし、1999 年に法律になったのに、あまり広まってない気がします・・・

《 感想文 抜粋 ② 》

・・・まず、男女が社会において、平等だということ。「女なんだから」「男なんだから」などの「だから」というような考えは捨て、男、女も隔たりなく、いろいろな仕事に就ける。男性も最近は育児休暇が取れ育児に参加できること。女性からの DV 暴力があることを知りました。そして、今ではスマホの普及により、LINE やメールで顔文字に感情を込め、嫌われないようにしている現状があると思いました。僕は LINE やメールより実際の言葉でコミュニケーションを取っていかうと思いました。また、苦手な人とも、何かをやる時にはコミュニケーションを取って協力していける力も付けていかうと思いました。

S W O S の会
びっくり箱劇団



地域に広げよう！ あざれあネットワーク！

▼▲▼NPO法人あざれあ交流会議は静岡県男女共同参画センターの指定管理者です▼▲▼